

## INFORMATION

### 臨床研修センターのご紹介

臨床研修センター長 甲谷 哲郎  
(理事・循環器センター長)



臨床研修センターのメンバー

4月1日より、臨床研修センター長を拝命しました甲谷です。この場をお借りして、臨床研修センターをご紹介します。

#### 臨床研修制度とは

以前は、医学部卒業後、研修医は大学医局(専門診療科)に入局し、大学病院で研修を受ける(ストレート研修)のが一般的でした。卒業後、医局へ入らず直ぐに市中病院での研修(スーパーローテーション研修)を選ぶ研修医もいましたがやや少数派でした。

しかし、ストレート研修方式では、専門性に偏り過ぎて基本的な診療能力が身につかないとの批判が高まりました。そのため、平成16年に厚生労働省は、「将来専攻する診療科にかかわらず、基本的な診療能力を身につけること」を目的とした初期臨床研修制度を義務化しました。すなわち、プライマリ・ケアへの幅広い診療能力向上のために、内科、外科、救急部門(麻酔科含む)、小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療の7科を回るスーパーローテーション研修が導入されました。研修病院を決めるための全国的なマッチングシステムも開始され、また研修医のアルバイトは禁止されました。さらに、平成22年から一部制度改正により、プログラムは弾力化され、選択すべき診療科の数を少なくすることも可能となり、プログラムの自由度が高くなっています。

#### 当院における臨床研修管理体制

当院は、病床数798床、外来患者数1750人/日、入院患者数573人/日(平成25年)と豊富な症例数を背景にして、毎年、多くの初期研修医を受け入れております。当院には、病院長の諮問機関として、レジデント教育委員会があり、研修プログラムの作成・管理・評価など、研修医の統括的管理に当たっています。また、レジデント教育委員会の下部組織として若手指導医を中心としたレジデント教育委員会プロジェクトチーム会議を設置し、研修プログラム実施上の具体的な問題点を検討しています。このメンバーには、研修医代表も含まれており、研修医の希望や意向を反映させています。

さらに、研修医に、より密着してサポートする組織が必要というプロジェクトチーム会議での議論をもとに、今回、臨床研修センターの設立となりました。センターの構成は、センター長:甲谷哲郎(循環器内科;プロジェクトチーム会議委員長兼任)、医長:佐藤朝之(救命救急センター)、医師:芦原順也(糖尿病内分泌内科)の3名です(写真)。臨床研修センターは、研修環境整備から健康管理にまで心配りして、研修医(初期研修医・後期研修医)が心おきなく研修に打ち込むことが出来るようにすることが大きな使命と考えています。具体的な業務としては、プロジェクトチーム会議と共同して、研修環境の整備、マッチング関連業務(研修医募集、選考など)、研修プログラムの開発と管理、研修医セミナー・勉強会の開催・管理、医学生の病院見学の調整管理、指導医講習会に関する業務などを行います。

#### 臨床研修センターによる診療活動の開始

臨床研修センターによる診療(時間外外来診療、外来・病棟の救急に対応する診療:院内119番)が6月2日より開始されています。当院の高いレベルの専門診療科ローテーション研修に加えて、今回開始された臨床研修センター診療によりプライマリ・ケアに対する診療能力がより一層磨かれることが期待されます。

#### 終わりに

以上、臨床研修センターについてご紹介いたしました。「研修医は病院全体で育てる」という当院の理念・伝統をより強固に構築するように努力したいと思います。どうぞ、ご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

